SHINCLUB

16/

(株)辰 東京都渋谷区渋谷3-8-10 JS渋谷ビル5F

tel/03-3486-1570 fax/03-3486-1450



今月のトーク/monthly talk

「ユニーブル渋谷神南 エントランスアプローチ 」撮影:渡辺慎一

時代をあらわす建物

写真はこのたび NHK 放送センター前に竣工した、グループ会社ユニホーの分譲のマンションのエントランスです。コンクリートの構造柱が、建物に奥行と品格を与えています。

毎度テレビの話で恐縮ですが、今回はその NHK の朝の連続ドラマ「ごちそうさん」が食にまつわるテーマに加え、建築の話にも触れています。 主人公の夫、西門悠太郎は大阪市役所の建築課に勤め、今は大阪初の地下鉄建設に関わっています。 設計者と役所、施工者のせめぎ合いなど、建築関係の人なら誰もが思い当たるような話も裏で進んでいきます。 そして第二次大戦下、物資不足で鉄筋の調達に苦しむ悠太郎たちに、竹筋コンクリートの話が持ち上がります。 実際に、大戦中は竹筋コンクリートの建物や橋が作られたことがあったそうです。 しかし、竹の外皮はコンクリートとの接着性が悪く、骨組みが離脱する恐れがあったことと、コンクリートのアルカリに弱く竹材内の脂質が分解されることで長期的に強度が低下する恐れがあったこと、竹材そのものが吸水乾燥によって膨張収縮するためにコンクリートにひび割れを発生させることなど、問題点がありました。 それらを克服するためにいろいろな工夫が施されましたが、 結局終戦後は、 鉄筋にとってかわられました。

今、巷で材料不足だとか、人材不足と言っても、さすがにコンクリートに 竹を使ったりすることはないでしょう。 何かの代替品というときには、しかるべき理由と経済事情が必要です。 そう考えると、 建材もいろいろな事情で、 時代を表していると言えるでしょう。 環境問題がかまびすしくなった、 20 年 ほど前から、シックハウス症候群などの室内の仕上げに使う建材には、塗料の基準なども設けられるようになりました。そして、構造やプランも、時代の影響を受けないわけにはいきません。自然を内部に取り込んだり、外気との関わりを考えたりして環境に配慮して建物づくりは進められます。

また住宅建設が活況を迎えていますが、住宅展示場に足を運ぶと、投資用に自宅と賃貸部分、事務所部分を一緒に建てるプランなどが多々見られます。こんなことは、20 年前にはなかったように思われます。社会情勢も大きな要因です。

朝ドラの主人公たちの方は、食材不足の中、いろんな代用食を考えます。 大豆コーヒーだったり、梅やらっきょうを入れたタルタルソースだったり。 家畜の 餌のような団子を栄養食として作らされ、そのまずさに学校にも突っ返された 主人公は、大事な食材を最大限美味しく作ることを改めて誓います。 それ は「偽装」ではなく、「始末」の心です。 与えられたものを大切に使う工 夫です。

ものづくりの答えは一つではないと思います。その都度、その人、その場所、その時代にあったものが求められています。それに対応できる会社が、生き残る価値のある会社なのでしょう。さらに、建築は長い時間の視点が欠かせません。50年、100年先のことを考えていかなくてはなりません。でもそれは本来、すべてのことにあてはまることなのでしょう。

ユニーブル渋谷神南



代々木公園の森を引き込む、渋谷の分譲マンション

敷地は、渋谷駅と代々木公園の中間に位置する宇田川町という好立地である。渋谷駅周辺の 賑わいと、代々木公園の豊かな緑の静穏を取り込み、単なる分譲マンションではなく、双方の 利点を活かしつつ、デザインホテルのような大人の空間を目指すこととした。

まず、建物へは正面から直線的に入るのではなく、左側に設けられた特注れんがタイルのエントランスを通り、サイドから右側の小さな森のアプローチへと導かれる。アプローチを形作る鋼製のルーバーに沿って、大きな玄昌石のラウンジ、さらに奥には神殿を思わせるような、構造の柱が2層吹き抜けの空間をダイナミックに演出する。

植栽は、ヤマモミジ、カツラ、ユキヤナギなど、代々木公園の木々を意識した、高低さまざまな樹種を選定。照明、アートワーク、ランドスケープのコラボレーションが、昼と夜、四季 それぞれの森の景色を演出するスペースとなっている。

建物内部に入るとカーペット敷きの共用廊下、そしてクランクインして入る各住戸では広めのエントランスホールが幾重ものプランニングで実現。充実した住宅設備で快適な暮らしをサポートする一方、通常のマンションではキッチンのレンジフードなどダクトを通さなければならない部分で下がり壁ができるケースが多いが、今回はリビングを避けて、裏側の天井に通している。大型バスルームの採用、モザイクタイルの洗面室、ベツセルを備えたトイレなど、サニタリースペースの細部にまでこだわっている。居住者の方々には、景色を楽しみながら、ゆっくりとご自身を開放するひとときを過ごしていただきたいと思う。

(コプラス 設計部チーフ 大豆生田亘氏、担当 高宮大輔氏 談)











所在地: 渋谷区宇田川町 7-17 構造: RC 造

構造: RC 造 規模: 地上 10 階 用途: 共同住宅(34 戸) 企画: ユニホー

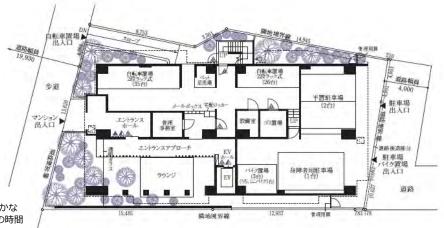
設計・監理:コプラス

照明デザイン: sola associates ランドスケープ: YARD 施工担当: 佐々木、八幡 竣工: 2013 年 12 月 撮影: 渡辺慎一





①全景。NHK 側から臨む②エントランス。グレイの石器質タイルが豊かな表情をつくる。低い照明が森の中のような外観を作り上げる③自然との時間を居住者で共有する屋上デッキテラス④南側渋谷駅方向を臨びバルコニー。隣地は大きな駐車場があり、明るい⑤エントランスアプローチのラウンジ。コンクリートの柱に囲まれて重厚な趣を醸し出す⑥ホテルのように内廊下を広めに取り、クランクインする住戸アプローチ⑦住戸内のエントランスホールは広く、廊下より効率的⑧戸建並の 1618 サイズのバスルーム



IKETEI VILLA









既存のビルに隣接して新たな「対比」を実現したオフィスビル

鞄メーカー(㈱イケテイ東京店の「増築」である。「増築」と言っても、法規上の理由から建て増すことはかなわず、別棟を建設することとなった。

浅草橋駅近くの既存のビルは1989年竣工。伊東豊雄氏の設計によるもので、地上7階、鉄骨造。 事務所・倉庫とショールームの機能を持っている。当時、伊東氏はガラスの表層性についての 論文を書かれているが、アルミパネルとガラスのカーテンウォールのファサードは、時代のイ メージを代表しているものであった。メンバーの一人が現場監理を担当した縁で、今回の設計 を行う機会を得た。

新しい建物は、既存の建物をそのまま活かしたデザインを行うことも可能だが、時代は変化している。我々は、大災害を経験し、気候変動も含めこの先の環境問題について、柔軟に対応していく必要があるだろう。当時の表象性、抽象化に対して、踏襲しつつも、より実用的な、深層のあるファサードを考慮する必要性を感じた。

具体的には、既存のビルの横ストライプに階高を合わせて、ラインをそろえることで一体感を表出しているが、新しいビルでは各階に軒を設けている。80 年代から 90 年代のオフィスビルの考え方では、空調は機械換気でおこない、気密性の高い窓で囲ってしまうものがほとんどだった。しかし、電力消費の節約が求められる今後は、天気の良い日は窓を開けるなど、外の環境と関わりのある空間を用意したい。その操作としての軒である。

一方、建築が軽さを求められた時代から、今後訪れるかもしれない災害に対し、力強い素材が求められていると感じている。外壁はアルミの代わりに、溶融亜鉛メッキ鋼板を採用した。

内部の構成は、1,2 階がショップ、3 階から上は倉庫や事務所などマルチスペースである。倉庫といっても、ただものを置いておくスペースではなく、バイヤーの方々が商品を見に来て発注する場であり、大きな展示会も年に何度か行われる。各階のアクセスが可能な限りスムーズに行われるよう直線的な内部階段を作り、また会社のオリジナルブランドが展開する 2 階のエレベーターはガラスのシャフトにし、視覚的に広がりを持たせた。1 階の階段の壁には濃色の耐候性鋼板を用い、ブランドの持つ黒革のテクスチャーの素材感と建築の内装の連動を図っている。

(みかんぐみ 談)



建て主様から

このたび、この東京店に3つのプライベートブランド、「フジタカ」「アックス」「シルバーレイククラブ」をご紹介するショップがオープンすることになりました。イケテイの世界観をトータルでお伝えできる「館=IKKETEI VILLA」として、さらにじっくりとご覧いただけるようになります。

1 階の「フジタカ」はエントランスのイメージ、落ち着いた雰囲気で、お客様をお迎えします。2 階の「アックス」はテラス、白を基調に観葉植物などを配しています。その奥の「シルバーレイクラブ」は書斎です。木目の家具や本などを置き、趣味的な空間として打ち出しています。

ここを拠点に、より活発に情報発信していきたい ですね。

> 株式会社イケテイ VILLA 事業部統括マネージャー 小川裕様



所在地:台東区 構造:S造 規模:地上6階 用途:店舗・事務所 設計・監理:みかんぐみ

施工担当:中村 竣工:2014年1月 撮影:アック東京

①向かって左側が既存の東京店ビル。右側が新たなビル。亜鉛メッキ鋼板の軒が隣のビルとの対比を見せる②屋上。右側の隣接する既存ビルの 7 階は社長室③2 階ショップ。ガラスシャフトのエレベータを通して反対側まで視線が届く④1 階エントランスは「フジタカ」のコーナー。右側に受付カウンター、その奥にエレベーター⑤階段の壁はまるで黒革のようなリン酸処理を施した耐候性鋼板⑥5 階。ブラインドを上げたマルチスペース

「平成 26 年度安全衛生大会を開催」 1月 29日 於:こどもの城

1月 29 日、恒例の「安全衛生大会」が渋谷区「こどもの城」にて開催されました。今年は提携会社 68 社 72 名と株式会社辰社員 47 名及び池田建設株式会社 (ZEN ホールディングス) 様より鎌田幸雄氏 (常務取締役) 他 2 名様が参加され、122 名が一同に会する盛大なものとなりました。協力会会長の小関邦昭氏 (小関工務店代表取締役) の挨拶で始まった安全大会は、小関会長が他の役員と供に重任され、昨年度の活動実績報告、発生事故報告、会計報告及び各種表彰が行われました。最も安全意識が高いと認められた現場に贈られる「安全作業所賞」では3現場が選出されました。また、昨年度完成現場において「価格・品質・工期・技術力・安全姿勢」から評価される「優良協力業者賞」では3社が選ばれました。提携会社192社及び株式会社辰からの投票により最高の職人を決める「匠」の表彰では、今年5名が選ばれ賛辞が贈られました。最後は全員で本年度安全スローガンを唱和し安全への士気を高めました。



■小関邦昭 安全衛生協力会会長



■窪田幸夫 ㈱辰 安全衛生委員長



■鎌田幸雄 池田建設株式会社常務取締役

やって防ごう労働災害を入りのではいか紙一重を除予知



■安全協力業者表彰(敬称略) (積極的に安全業務を推進された会員)

・株式会社 有喜建設※欠席 ・株式会社 矢竹鉄筋工業 ・有限会社 小池建材



■安全作業所表彰

(積極的に、安全、円滑な工事を行った現場)

- · 高野邸新築工事 (岩本健寿、堤沙織)
- ・表参道けやきビル新築工事(夏井広幸、田所幸治)
- ・N L Pハウス新築工事(瀧澤亨)



■「匠」表彰(敬称略)

- ·株式会社横田工業 平 宗光
- · 竹内工業株式会社 千葉 信男
- ・有限会社北村シーリング 北村 満政
- ・株式会社中居工務店 中居 郁也
- ・有限会社小島鋼業 中村 貴文



■26 年度新入社員紹介(向かって左から) 岡本拓也、鎌田俊太郎、郷格、古澤ひかり、 田島大輔、鄭知恵、川崎徹、永澤和昭



■安全スローガン(安全標語)受賞者の方々 (12か月分)優秀賞は、浜田雅史氏(浜田製作所) の一席でした(右上)



■最後に、森村社長より、昨年の実績報告、 および今年度の目標をご報告いたしました。

「長谷川ビル 新築工事」地鎮祭

2014年1月27日



港区三田の施主事務所の建替 工事。1-3階は事務所 4-7 階はオーナー宅を含む共同住 宅となります。

構造:S造 規模:地上7階

用途:事務所・書庫・倉庫・住戸 設計:石原・山口計画研究所 完成予定:2014 年 8 月

「シバ国立ビル新築工事」地鎮祭 2014年1月28日



工場を併設する事務所ビルです。

構造:RC 造

規模:地下1階、地上3階

用途:事務所・工場 設計:木名瀬佳世建築研究室 完成予定:2014年10月

編集後記

・大雪が降ると、建設現場は困ります。気温が低くなるとコンクリート中の水分が凍結する恐れがあるので、打設予定の変更や、養生を十分に行う必要があります。

(株)辰 通信 Vol.167 発行日 2014年2月10日 編集人:松村典子 発行人:森村和男

東京都渋谷区渋谷3-8-10 TEL:03-3486-1570 FAX:03-3486-1450 E-mail:daihyo@esna.co.jp URL:http://www.esna.co.jp